

# 栄養管理室

風間 敬一

栄養管理室は、入院患者の栄養状態改善・維持、免疫力低下防止や治療効果及び QOL 向上等を推進するために、チーム医療（NST）による栄養管理や患者に適した食事の提供、栄養食事指導を積極的に進めてきた。

特に術前術後の栄養管理、化学療法の食欲低下患者、嚥下障害患者の対応は、術前経口補液食、PC 食、嚥下食を提供して栄養改善と喫食率の向上に努めてきた。

今年度の、栄養管理室で行った主な取り組みについて下記に示す。

## 1. 栄養サポートチーム加算

入院患者の栄養管理をチームで取り組み、各病棟リンクナースが抽出した対象患者栄養チェックリストを基に、専任（医師、薬剤師、看護師）と専従（管理栄養士）による事前カンファレンスを行った後、抽出患者を回診した後に専従が栄養治療実施計画&報告書を作成してきた。

## 2. 栄養食事指導

手術後患者を対象とした栄養食事指導を積極的に実施してきた、件数は入院加算指導件数の約 50%を占めるようになった。外来指導では、電気インピーダンス法（INBODY）による体液量、体脂肪量、体蛋白量等を測定し、体組成評価も併せて実施している。

## 3. 1型糖尿病教育入院の指導

1型糖尿病患者は、食事中的糖質で血糖値が大きく変動する。栄養食事指導に糖質を計量するカーボカウントを導入することで、患者が自分で食事に合わせてインスリンを調整することができるなど、患者の食事生活に沿った指導ができるようになった。

## 3. 特別食加算

経管栄養による栄養補給であっても、加算対象病名がある場合は算定可能な食事オーダーをすることで、継続的に加算率アップが維持できた。

## 4. 食材の経費節減

栄養士、調理師で毎月献立検討会を開催し、嗜好調査や検食の意見を取り上げて献立に反映させている。さらに食材の価格を調査して予算内執行に努めている。

## 5. 術前経口補液食の推進

術前の経口補液食は、術後の栄養管理に大きく影響する。術前経口補液食を提供することで絶食が少なくなり患者 QOL 向上と喫食率向上につながっている。現在では多くの科で利用されるようになった。

## 6. Nutrition Week

職員の栄養療法に対する知識・意識の高揚と、栄養不良患者に対する医療の質的向上のために、ニュートリションウィークを開催した。

参加者は近畿ブロック職員だけでなく民間の職員も受け入れて、栄養管理の最新・高度の知識・技術を修得させ、サービスの質と提供体制の均質化及び向上を図ることを目的として実施した。

開催は 5/30～6/3 に行い 21 名（機構 7 名、機構外 5 名、大阪 9 名）の参加者があった。

## 7. NST 活動

### 1) NST 活動として 3 チームを結成して行った。

#### ・経腸・口腔ケアチーム

口腔ケア：電動歯ブラシ利用者を把握し、使用者の増加に繋げた。経腸栄養：簡易懸濁法の基準手順の周知を図った。

#### ・低栄養抽出チーム

入院時継続での 1 週間ごとの再評価にて低栄養抽出を行い、NST 依頼へと繋げる活動を行っている。

#### ・栄養サポート回診チーム

回診による栄養状態の改善、回診に必要な看護師の知識技術の向上のためデータベースの作成、回診者の申し送りを行った。

摂食機能療法算定件数は大きく増加した。

### 2) チームの活性化と栄養療法の質的向上を目指し、NST セミナーを開催した。

6 月 3 日 「術前補水から周術期の栄養管理と NST 活動」

大分大学医学部麻酔科学講座 準教授 岩坂日出男先生

7 月 1 日 「SGA の精度を高めよう」 担当：栄養管理室

11 月 4 日 「経管からの薬剤投与」 粉碎調剤と簡易懸濁法について

担当：薬剤科・経腸栄養チーム

1 月 6 日 「低栄養患者を NST 依頼へ繋げよう」 担当：NST 低栄養チーム

2 月 3 日 「患者さんの栄養、足りてますか」 担当：NST 回診チーム

3 月 2 日 「必要微量元素 亜鉛について」 担当：臨床検査科

## 【2011 年度研究発表業績】

### A-2

大池教子：第 2 版ナースング・グラフィカ⑥疾病の成り立ち臨床栄養学 日常生活と栄養「6 高齢期」本田佳子、關戸啓子、佐々木公子、田中俊治、久木久美子、武田ひとみ、黒川浩美、山本みとり、佐藤ミヨ子、田邊節子 114-119、メディカ出版、2012 年 2 月

### B-4

大谷弥里、鳥山明子、大池教子、岡田彩、浦田正司、風間敬一、辻仲利政：胃癌術後に継続した栄養指導と体組成分析を行った 1 症例：第 65 回国立病院総合医科学会、岡山、2011 年 10 月

鳥山明子、大池教子、岡田彩、藤谷和正、辻仲利政：胃癌術後骨格筋量低下に寄与する因子の解析、第 84 回胃癌学会総会、大阪、2012 年 2 月

大池教子、藤田和代、鳥山明子、岡田彩、庄野裕志、島田志美、西野万寿子、風間敬一、林伊吹、辻仲利政：SGA(主観的包括的評価)と ODA(客観的栄養評価)の評価結果に影

響する要因の検討、第 27 回日本静脈栄養学会、神戸、2012 年 2 月

岡田彩、大池教子、近藤美由紀、藤田和代、鳥山明子、庄野裕志、島田志美、西野万寿子、風間敬一、林伊吹、辻仲利政：入院患者における継続的な栄養スクリーニングの検討、第 27 回日本静脈栄養学会、神戸、2012 年 2 月

鳥山明子、三賀森学、松野裕旨、島田志美、庄野裕志、盛本優香、南昌宏、辻仲利政：ICU・NST カンファレンス症例の背景について、第 27 回日本静脈栄養学会、神戸、2012 年 2 月

#### B-6

浦田正司、江並亜希子、庄野裕志、江原愛、高田聖子、正岡美幸、山本美恵、風間敬一、上野裕之、三嶋秀行、辻仲利政：外来化学療法で栄養不良に陥らないために～簡易栄養評価法を用いた栄養スクリーニングと栄養指導～第 2 報、第 10 回関西がんチーム研究会、大阪、2012 年 2 月

#### B-8

大池教子：臨床栄養アセスメントの基礎と症例検討 胃切除患者の栄養管理 学際医療栄養セミナー 学際企画 2011 年 10 月